

注目の自治体施策

ツリーピクニック アドベンチャーいけだ オープン!!



森の上を滑空する
メガジップライン

日本最大規模の冒険の森

「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」が、平成28年4月にオープンしました。

施設内には、鳥の気分です空から森を楽しめる全長約1kmの「メガジップライン」や、樹上に広がる森のジャングルジム「アドベンチャーパーク」のほか、池田の素材を使ったメニューが味わえるカフェがあります。また、コテージやバーベキューハウスも整備されています。



薪づくりやかまどをつかったおやつづくりなどの体験プログラムも実施しています。



カフェでは、池田バーガーや有機野菜のジャーサラダなどが味わえます。



樹上に設置されたエレメントに挑戦するディスクパルサーコース。小さなお子様でも体験できるキッズコースもあります。

整備に至るまでの経緯

「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」は池田町が推進する「木望のまち」プロジェクトの中心となる施設です。単にレジャーを楽しむためだけでなく、「好奇心」を刺激し、森の中で「学ぶ」「遊ぶ」「結ぶ」をキーワードに、子どもから大人まですべての世代が木や自然に触れるきっかけとなる施設として誕生しました。また、森や木を資源として活用することで、地域経済の創造や若者の雇用促進、移住・定住人口の拡大につなげることを目指しています。

オープン以来、県内外から大勢の観光客が訪れ、平成28年9月28日には、有料プログラムの利用者が3万人を突破しました。（初年度目標5万人）

「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」が中心となり、町内経済への波及効果が期待されています。

●木望のまちプロジェクトとは…

池田町は町土の約92%が山林です。かつては林業のまちとして栄えましたが、現在は衰退の一途をたどっています。そこで、豊かな森林資源を教育やエネルギーなど多様に活かし新たな価値を創造することで、循環する経済づくりや協働のまちづくりを進めています。

また、子どもたちが家族と一緒に木と触れ合いながら、学び、遊び、つながりを深めるための取り組みも進めています。

木望のまちプロジェクト（主な施策）

○おもちゃハウス こどもと木

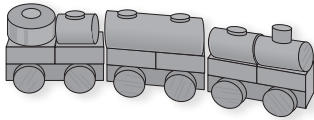
平成27年4月にオープン。
100種類以上の木のおもちゃや木の香りがする木の玉プールやすべり台など、遊びをとおして豊かな発想力や感受性を育むしかけがいつぱいです。授乳スペースやこどもトイレなど、お父さん・お母さんが安心できる設備も充実しています。



○ウッドファースト事業

木のぬくもりで自然を愛する豊かな心を育んでもらおうと、1歳になったお子さんに、池田町オリジナルの木のおもちゃ「木コロン」をプレゼントしています。

木コロン
池田町産材を使った手作りのおもちゃ
手押し車の中に積み木が収納されています。



○町産材をリノベーションに活用

町産材を多用し、廃校となった小学校を農村文化に触れながら滞在できる宿泊体験施設「農村de合宿キャンプセンター」として再整備しました。木の温かみの感じられる空間となっています。県内の小学生や県外の高校生も合宿などで利用しています。

■平成28年4月にオープンした「農村de合宿キャンプセンター」の食堂



○Wood LABO ikeda (ウッドラボいけだ)

木工初心者からより深く楽しみたい熟練者まで、木を使ったものづくりを楽しめる様々なプランが用意されています。

お問い合わせ先

- 木望のまちプロジェクトに関すること
池田町役場特命政策課
電話 0778-44-8210
HP <http://www.town.ikeda.fukui.jp/>
- 観光に関すること
いけだ農村観光協会
電話 0778-44-8060
HP <http://www.e-ikedajp/>

(文責)池田町役場 総務政策課
主査 山品 洋